

〔信長記〕室町殿重御謀反之事

十六日元龜三年七月信長卿、榎木、島へ向ヒ玉ヒケレバ、彼四人先懸ヲ申請テゾ加リケル、翌日信長卿

ハ五箇庄、柳山ニ旗ヲ立ラレ、略

〔山城志〕七治郡村里○中大和田、廣芝、畑寺、岡本、新出、岡屋、上谷已上八村岡屋郷今呼五箇莊

〔山州名跡志〕五愛宕郡大原○在矢背北爲隣、於波羅ト唱フ、但和歌ニハ大原トモ詠ズ、是則チ庄號ニ

シテ、分テ云大原里ハ無キ也、此庄内ニ南北ニ通ツテ往還道アリ、是ヲ隔テ東西ニ八ノ村アリ、南

端戸寺村、其次上野村、大長瀬村、來迎院村、勝林院村アリ、西ハ南ニ井出村、其次野村、其次草生村是

ナリ、

〔續千載和歌集〕十八雜大原にまかりて草庵の所などしめをきて後寂圓上人に申つかはしける、

常磐井入道前太政大臣

うれしくぞまだみぬ山のおくもみし世のうき時の宿もとむとて

〔山州名跡志〕十三伊那伏見。是即庄號也、伏見ノ方境ハ、今墨染寺ノ南二町許ニ、左右ノ辻アリ、是レ

北ノ界也、但今所定伏見領ハ、稻荷北一町餘、大路ノ石橋ヲ限ル、南ハ京橋南十町餘、至淀堤ノ上ニ

界アリ、西ハ竹田大路ヲ限リ、東ハ古城山巽、豊後橋ヲ限ル、

〔慶應元年武鑑〕雁間從四位侍從文久三亥七月在稻葉民部大輔正邦 拾萬二千石 居城山城紀伊郡淀江戶ヨリ百二十五里七町半

當城者依台命築之、元和九、松平越中守定綱、寛永十、永井信濃守尙政、同右近大夫尙征、寛文十、石川

主殿頭憲之、同主殿頭義孝、同石之助總慶、寛永八、松平丹波守光熙、同孫四郎光慈、享保二、松平左近

將監乘邑下總佐倉ニ移、享保八、稻葉丹後守正知以後領之、○節略

〔倭名類聚抄〕五國郡山城國○註管八田八千九百六十七町七段三把雜稻二十正稅公廩各七十五萬東

〔伊呂波字類抄〕也國郡〔山城國〕管八郡〔中略〕本田八千九百六十二町一反

石田
高數

藩封